



2025年1月6日発行  
公益財団法人とちぎYMCA  
〒320-0041  
宇都宮市松原2-7-42  
Tel 028-624-2546  
Fax 028-624-2489  
www.tochigiyymca.org  
発行人 / 塩澤 達俊  
編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA

# YMCA News



## 2025年頭のご挨拶

表紙の写真から 宇都宮市青少年センター（トライ東）にて餅つき餅まき大会 2024の様子。一生懸命にお餅をつく姿が印象的です。

皆様明けましておめでとうございます。

このお正月はどの様に過ごされましたでしょうか。このところの世界は、新型コロナウイルスの影響により、約3年酷い思いをした挙句、ロシアによるウクライナへの侵攻、そして去年のイスラエルとパレスチナ問題、挙句の果てには、中国の不穏な動き、少なからず日本、そして私たち個人にもダメージの多い事が続きました。ひとつひとつよく考えてみると人間のそれぞれの見栄と欲から来るものです。何千年の間、人間は同じ様なことの繰り返しをしているのです。

そしてこのところの世界は本当に危険な水域に差し掛かっているように思えます。世界全体としては平和な安定した生活を望んでいるのですが、ある人の見栄と欲によって悲惨なことが起こるかもしれません。こんな時、我々としぎYMCAとしてはどんなスタンスで行ったらいいのでしょうか。

この問題は昔から人類の最大の悩み事だったのです。そうして生まれたのがキリスト教であり仏教でありイスラム教であったのでしょうか。それぞれ素晴らしい考えを教義としているのだと思いますが、それらを熱心に思うあまりそれを原因としての争いが起こっていることもまた事実です。YMCAの良いところはキリスト教の考えの良い所をベースとしてはいるのですが、すべての考えを受け入れる超党派としての立ち位置にあるのだと思います。

遠い未来の政も大事だと思いますが、今現在の局地的な問題、ちょっと先に必要になるであろう事をいち早く考え、行動に移していくそしてそれがYMCAの

生業になる。しかしそのプログラムを自分だけのものとはせず世間に広めていく。

偉そうに言いましたが、諸先輩に教えてもらった事です。ちょっと先を見る力、人生、生きていくうえで凄く大切なことだと思います。大きな目標を持つのも凄く大切ですが、ちょっと先が見える力を持てばひとまず人生のハンドルをうまく切っていけるでしょう。

とちぎYMCAの活動としては、そういう力を若者に持ってもらうべく英会話、野外プログラム、ボランティア活動などを行っています。そうしてちょっと先を見ることのできた、時の総主事が、30年も前にこれからは老人問題が起こると思い日本のYMCAとしては初めてとなる老人ホームを作るなど素晴らしい実績を残しています。これからもちょっと先を見るハンドルさばきで、とちぎYMCAが、地域や世界に未来は明るいと、光を与えられる活動をしていきたいと思っています。

公益財団法人とちぎYMCA 理事長 岡田 孝司

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

### 2024年度とちぎYMCA年間聖句

《善いサマリア人》の喩え

新約聖書 ルカによる福音書 第10章30節~37節



### 認定こども園 さくらんぼ幼稚園 「 新年のご挨拶 」



2024 年度 3 学期を迎えました。年末年始ご家族と楽しい思い出を作ってきた子どもたちの元気な声が幼稚園に戻ってきました。

2 学期はたくさんの行事を通して、「友だちと心と力を合わせて頑張ろう」をテーマに最後まであきらめずに頑張る心、自分一人では出来ないことも友だちと力を合わせればできる、ということを経験することが出来ました。

12 月にはクリスマス会がありお遊戯やリズム劇、オペレッタを発表しました。

また、11 月 25 日から 4 週間のアドベント礼拝が始まり、4 回目の礼拝で 4 本全部のろうそくに火が灯りクリスマスが近づいていることを感じることが出来ました。サンタさんが来てくれる楽しいクリスマスは、イエス様がお生まれになった日ということも礼拝を通して学ぶことも出来ました。

3 学期は学年のまとめの時期です。就学や進級に向けて実りある毎日にしていきたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

### ようとう保育園 「 幼児組生活発表会2024 」

12 月 14 日(土) 3 歳～5 歳児クラス毎に開催しました。



**3 歳児うぐいす組**  
劇あそび『はらぺこやぎとトロール』  
絵本で親しんできた「三匹のやぎのガラガラドン」のお話から演目になりました。トロールやぎのやりとりが面白くて普段のあそびのなかでも、ごっこあそびや鬼ごっこを楽しんでいたのも、親しみやすかったようです。台詞繰り返し練習することで堂々と自信をもって言えるようになりました。発表会当日はやぎとトロールになりました。可愛らしい姿をお見せすることが出来ました。

担任 山口 浩美

**4 歳児ふじ組**  
ダンス『チグハグ』  
毎日、子どもたちから「今日ダンスやる？」と、発表会当日に向けて期待を膨らませながら取り組むことが出来ました。最初は「難しいんだよ」と苦戦する姿もありましたが、友だち同士声をかけ合いながら練習することで、しっかりリズムにのって踊れるようになりました。当日は保護者の方が子どもたち手作りうちわを持っての応援もあり、まるでライブ会場のような雰囲気でも盛り上がりました。

担任 高松 ひとみ



**5 歳児さくら組**  
運動あそび『Give your best. ～縄とび・鉄棒とび箱～』  
子どもたち一人ひとりが自分の縄跳びを、布で三つ編みして作り上げました。お手製の縄跳びは愛着が沸き、時間さえあればいつでも室内外どこでも跳ぶ練習を重ね、できる技がどんどん増えていきました。鉄棒と跳び箱は週に一度の運動あそびで継続的に楽しんできました。上手い出来ない悔しさをバネに「もう一回やってみる」「あとちょっとだったよね」と諦めずに挑戦し、「〇〇くんすごい！」と友だちと認め合うことでスキルアップに繋がっていきました。当日も練習の成果をできる・できないに関わらず、一人一人のペースでしっかり発揮できました。

担任 亀和田 里沙

### 子どもの家だより ～細谷小子どもの家 アドベンチャークラブ～ 「 オリジナルマフラーづくり 」

新年度がスタートから子どもたちは落ち着いて、充実した毎日を過ごしています。



アドベンチャークラブのこの時期の活動の中に毎年子どもたちがそれぞれチョイスした毛糸でマフラーを作る活動を行っています。

オリジナルの手作り編み機の貸出期間は 2 週間のため一生懸命、編み物に没頭していました。編み上げたマフラーを支援員が閉じて、預かっていた毛糸でポンポンを作り完成しました。なかには家族へのプレゼントとして 2 回目の製作に取り掛かる子もいて、この時期の恒例行事となっています。

これから訪れる本格的な寒さの前に完成させ、色とりどりのマフラーを嬉しそうに首に巻いて毎日元気に登校している子どもたちです。

主任支援員 平野 悦子

### ひがしやまアトムクラブ 「 アトムクラブのお引越し 」



秋の気配を感じたのもつかの間、初冬の到来です。10 月はアトムの画期的な出来事がありました。それは引っ越しでした。20 年間もお世話になったアトムの建物ともお別れです。夏祭りなどのいろんな思い出の詰まった出来事がありました。使わせていただけてとても感謝しています。

10 月 28 日から新しい建物になりました。新しい建物の大家さんとても良心的な方で、アトムに通う子どもたちが使いやすいように改善をしてくださり、使用しない冷蔵庫やイス・テーブルなどを貸してくださいました。子どもたちは広くてきれいな建物に大喜びでした。

えび(1・2 年)の生徒たちは帰ってくると、みんな自分の好きな事を始めます。オルガンをひく子・工作や折り紙をする子・おもちゃで遊ぶ子・絵をかく子、それぞれです。中には、支援員もあって驚きのアイデアで工作に励む子もいます。低学年でもあんなに上手に作れるのかと思うほど感心してしまいます。

さつり(3・4・5・6 年)の子どもたちは帰ってくると、まず最初に宿題を終らせ、タブレットを楽しんでいます。男の子たちは追いかっこ・相撲・かくれんぼなどを楽しんでいます。晴れの日は校庭へ遊びに行くのをとても楽しみにしています。喜んでる子どもたちを見て私たちスタッフもほっこりしています。

沢田 くみ子

新しいアトムクラブに行く、改めて多くの方々のご支援の大きさあたたかさを肌で感じる事ができます。

今までも地域の方々や YMCA の OB の方々などのお支えを頂き活動してきましたが、更に新しい方々のお支えが加わり、安心して過ごせる場所となりました。オーナーの金野さんをはじめ、下駄箱を作って下さった YMCA の OB の岡田さん、新しい畳を提供して下さいました YMCA の代表理事の岡田孝司さんなど、様々な方々の子どもたちへのあたたかい思いが伝わってきます。

スタッフ一同心から感謝いたします。そして、その思いを受けてより良い活動にしていきたいと思っております。

藤生 容子



### 宇都宮市青少年活動センター(トライ東) 「 学生の味方! 自習室& トライスタディールームのご紹介! 」

学生の皆さん、日々の勉強大変お疲れ様です。トライ東では、定期テストや入試対策、日々の勉強をしたい学生のための自習室をご用意しております。この自習室は、開館時間の《朝9時から閉館時間の夜9時まで》"予約なし"でご利用いただけます。そしてWi-Fiも使うことができます!

「近くの自習室は予約がないと使えない」なんてお困りの方はいらっしゃいませんか。トライ東の自習室は、学生に優しく、多くの中高生にご利用いただいております!ぜひお気軽にお越しください!

※対象:登録利用証の作成できる宇都宮市内在住または在学の中学生～大学生・短大・専門学生

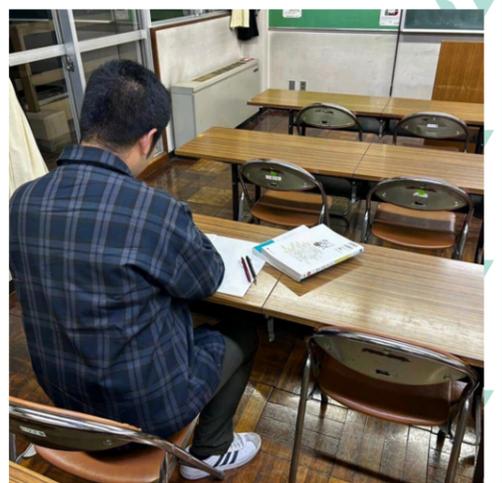
※中学生の利用は19:00まで

※予約がない時間の空き教室の貸出を“自習室”と定めております。予約の状況に応じてお使いいただけない場合もございますのでご了承ください。

また、毎週火曜日(祝祭日を除く)には、《トライスタディールーム》という無料の学習支援プログラムも展開しております!

宇都宮市内在住または在勤・在学中で、学習する機会を必要としている人ならどなたでも参加できます◎  
事前の予約は不要です!宿題やワークなど、学習するもの、飲み物を持って、当日お越しください。  
高校生のユースボランティアリーダーや、トライ東のユーススタッフがお待ちしております。

毎週火曜日(祝祭日を除く) 16:00～18:00(途中入退出可) 宇都宮市青少年センター(トライ東)/宇都宮市今泉町3007番地



# チャリティークリスマスを開催いたしました



2024年12月7日(土) YMCA EASTにてYMCA イングリッシュの講師主催「Charity Christmas」を開催しました。当日は幼稚園生から大人の方まで集まってお楽しみいただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。

まずみんなでまつぼっくりのクリスマスツリーを作りました。同じまつぼっくりでも出来上がりはみなさんそれぞれで、とてもかわいいものが出来ました。

その後、富山YMCAとzoomをつないで能登半島災害支援の状況について聴きました。2024年1月1日の地震から復興の兆しが見え、被災した子どものためのリフレッシュキャンプなどをスタートさせたところで、豪雨被害があったので住民の方はもちろん、復興に携わってきたスタッフもかなり落ち込んだそうです。複数のYMCAからボランティアが集まり、泥かきなどの作業をしたことやまだこれからも支援が必要なことなどを伺いました。



そして、フィリピンのナボタスとつないで、とちぎYMCAのフィリピンキャンプやパートナーの教会のユースたちのダンスグループの話、奨学生の話などを聞き、ダンスを見ました。皆さんが募金してくださっているお金の使い道を詳しくお伝えする機会はとても貴重だと感じました。

最後はみんなでフィリピンのアドボ、フルーツサラダ、ジンバブエのチャカラカを食べながら談笑しました。

今回のイベントの参加費、またこのイベントに賛同してくださった方からの寄付もあり、16,226円が収益金となりました。能登半島災害支援と、国際協力募金に半分ずつ寄付させていただきます。国際協力募金は引き続き募集していますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

## 防災について考えよう ワークショップのご報告



### 「防災について考えよう

～地域に住む外国人住民と日本人住民が助け合うには～」開催いたしました

2024年11月23日(土)「地域に住む外国人住民と日本人住民が助け合うには」というタイトルで、防災について考えるワークショップを行いました。今回は宇都宮大学で防災のゼミに所属している学生の力を借りてみんなで気づきの時を持ちました。こじんまりした会ではありましたが、宇都宮大学の中国人留学生2人も参加してくださり、中国の状況なども聞くことができました。

国際理解ワークショップにどうして防災?と疑問の方もいらっしゃったかもしれませんが、言語や、習慣、経験の違いによって外国人が災害弱者になりやすいことを学び、防災について考えるときに身近な外国人や弱者になりえてしまう人々についてもっと知る必要があることを学びました。

日本語がわからない人が避難所に行くと、もし日本語の標記しかなかったら?周りの人の言っていることがわからないかったら?日本人の空気が読めなかったら?

実際に3.11東日本大地震で起こったことをテーマにしたロールプレイなどを通して、自分が外国人の立場に立ってみてどんなことに困るだろうか、地域住民として、どんなことに気を付けたらいいだろうか話し合いをしました。今回のワークショップでは、行政ができること、地域に住む私たちが出来ることなど様々な目線から考えるよいきっかけとなりました。自らの防災への備えや地域住民としてできることなどを再確認するよい機会になりました。

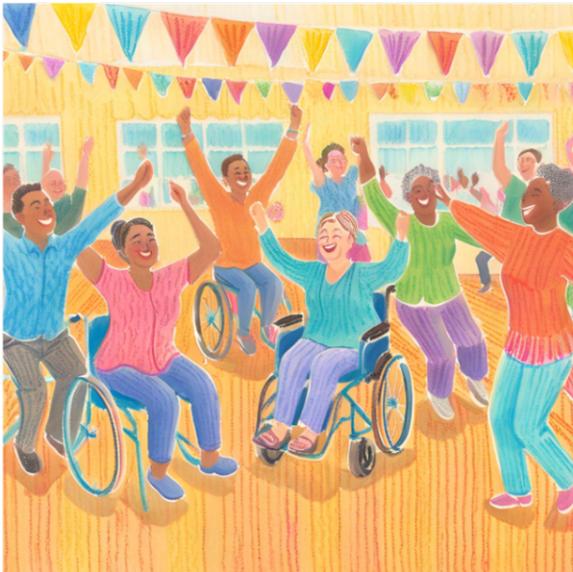
2024年度の国際教育ワークショップは今回が最後です。次回は2025年度となります。これからも初心者向けのワークショップを継続して行っていきますので、ぜひ一度ご参加ください。

### ワークショップの内容について

今後、ワークショップの中で学んでみたいテーマなどがございましたら [info-international@tochigi-ymca.org](mailto:info-international@tochigi-ymca.org) までご連絡ください。皆さまのリクエストをお待ちしております。



# 第19回とちぎYMCA インターナショナル・チャリティーラン代替プログラム ユニバーサル・チャレンジ フェスタ を開催いたします



ユニバーサル・チャレンジ フェスタを下記の通り、開催いたしますので是非ご参加ください。

- 【開催日】：2025年1月19日(日)
- 【開催場所】：宇都宮市青少年活動センター(トライ東) 体育館  
〒321-0962 宇都宮市今泉町 3007 番地
- 【開催時間】：10:00 ~ 12:00
- 【参加費用】：無料
- 【参加対象】：どなたでも参加可能

- 【申込方法】：プログラムフォームからお申込ください
- 【内容】：インクルーシブダンス・輪投げ・廃材積み  
フリスビー飛ばし・ころころダッシュ・ゴム跳び  
お楽しみブース(有料) 2ブース

▼プログラムの  
詳細はコチラ!



## ユニバーサル・チャレンジ フェスタ 申し込みフォーム



左記 QR コードより  
プログラムへのお申し込みをいただけます。

## 月刊#(ハッシュタグ)



とちぎYMCA総主事  
塩澤 達俊

### 第41回 #なにそれなにそれ

#イースター #レント #受難節 #シュロ #Ashes to ashes

春はある意味でクリスマスよりも重要な季節といわれます。

キリスト暦ではイースター前の46日間をレントや受難節と呼んで、いにしへのクリスチャンは自らの罪を悔い改めて心身を清めて(断食や禁欲もして)祈りの期間を過ごしたのだそうです。受難節は《灰の水曜日 Ash Wednesday》にはじまり、《棕櫚(シュロ)の主日》、《受難日(イエス・キリストが十字架の上で亡くなった日)》そして《イースター(三日目に復活した日)》へと祈る日々が続きます。



もちろんクライマックスは《過ぎ越しの食事(最後の晩餐・木曜日)》~《受難日(ゴルゴダの丘の十字架・金曜日)》~《キリストの復活(日曜日)》でしょう。

ですが、わたくしとしては《灰の水曜日 Ash Wednesday》の響きが好きです。《Ashes to ashes》というSFっぽいビデオが印象的なデビッド・

ボウイの曲とも重なって謎めいた感じが、深遠な物語りめいて良い感じ(Ashes to ashes: 灰は灰には、創世記に由来する埋葬のときの祈り句の一部)。

またイエス・キリストの「エルサレム入城の日」に由来する《棕櫚(シュロ)の主日》もシュロという植物が醸し出すエキゾチックな雰囲気が良いです。とちぎYMCAのフィリピン・タラ村スタディーツアーに参加した時、ちょうど《棕櫚の主日》にあたり教会の祈りが夜に聞こえてきたことがありました。その時、修道院の中庭のヤシの枝越しに見えた星空と生暖かい夜風が何とも言えない風情だったことも思い出します。

「受難節」は罪を悔い改めて心身を清めて祈る時ですので、毎年、その時々自分のイエスの苦難と向き合って祈り、日々新しくされる(復活の)いのちに感謝する時になります。

イエスの復活という出来事の荘厳さと謎めいた神秘さに、これまでの旅や人生で見てきた風景や記憶が混然となって、祈りと共に(わたしは植物を自分で焼いて作った灰の香りも吸います)時空を超えたトリップ感覚をもたらしてくれるのです。

来月はよいよ受難節です。よいイースター・トリップを!



## 別冊 The ~2024年の現在地~ とちぎYMCA 2024年度「YMCA 大会」

みなさん、こんにちは。とちぎYMCAです。  
どなたにも開かれていて、必要な時にどなたでもご利用いただける共生の場と、支えられ-支えるの支え合い循環型社会の創出に全精力を傾けたい!  
わたしたちのYMCAが、今日もボランティアの皆さんをはじめ、ご賛同をいただいているサポーターの方々、長年にわたってご支援をいただいている会員の方々、ご利用者の方々など、あらゆる世代のあらゆる方々とともに歩ませている理由はこれです。

そうしたわけで、わたしたちのYMCAは2013年より「公益財団法人」として(会員組織という枠組みを超えて)性別、国籍、年齢その他あらゆる属性を問わず、あらゆる方々に開かれたYMCAとして今日もあります。

そのため、わたしたちYMCAはその活動と運動と現在をあらゆる方々にご報告する義務があります。

いままで「YMCA大会」と銘打ったイベント開催がその場となってきましたが、よりたくさんの方々にお伝えできるよう、2024年度は『別冊 The とちぎYMCA』としてWebサイトで年度内開催することとなりました。

通常の活動報告は公式ホームページをご覧くださいと存じますが、別冊の特集は【とちぎYMCAの本部館:YMCA EASTが移転してオープン!】と【とちぎYMCAの新しい活動群の居場所が熱い!】です。

YMCAへのご質問フォーム、ボランティア参加の募集とエントリー、ご寄付の受付などインタラクティブなコミュニケーション・ツールも組み込んであります。

とちぎYMCA 総主事 塩澤達俊

特設ページは3月31日まで公開中です!ぜひ、ご覧ください。

特設ページはコチラ!



## 【感謝】2024年度とちぎYMCA 会員報告

■2024年11-12月 会費ご納入いただいた皆さま(敬称略)

阿久津ユリ子、渡部静子、羽山弘一

ありがとうございました。